

平成27年2月5日

横浜市立学校
学校長様
PTA会長様

横浜市PTA連絡協議会
会長 森川智之
広報委員長 生田麻実

平成26年度「横浜市PTA広報紙コンクール」作品募集について

春は名のための厳しい寒さが続きますが、皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろから横浜市PTA連絡協議会活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、横浜市P連では今年度も市P連加盟全校を対象に「横浜市PTA広報紙コンクール」を実施いたします。

応募いただいた作品は、市P連役員・常置委員・市教委指導主事・神奈川新聞社で構成する選考委員会で審査します。入賞された学校は横浜市PTA連絡協議会総会で表彰し、会場に作品を展示します。また、小学校・中学校部門の特に優れた作品は、日本PTA全国協議会主催の全国小・中学校PTA広報紙コンクールに、横浜市P連選考作品として出品いたします。昨年は、2校が入賞されました。

裏面の要領で募集いたしますので、多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

横浜市PTA連絡協議会 事務局

TEL 662-7080

FAX 662-6084

e-mail:ycity-pta-7080@car.ocn.ne.jp

平成 26 年度 横浜市PTA広報紙コンクール 実施要項

(兼 全国小・中学校PTA広報紙コンクール第一次選考)

横浜市PTA連絡協議会

1. 主催 横浜市PTA連絡協議会
2. 後援 神奈川新聞社
3. 募集対象
横浜市PTA連絡協議会加盟の単位PTAが、平成26年4月から平成27年3月までに発行した広報紙。
 - ・ 2種類以上発行している時（「広報〇〇」と「実行委員会だより」など）は、そのうちの1種類。
 - ・ ただし発行回数が年2回以上あること。
4. 応募方法・送付先
 - ・ 期間中に発行された**すべての号**（各1部）をクリップ等で一つにまとめる。それを**2冊**作成。複写不可。また、装飾や補強のための表紙などはつけないこと。
 - ・ 別紙「**応募票**」と上記**2冊**を同封して、以下の必要事項を記入し、市P連事務局に「**市メール**」にて送付する。なお、応募作品は返却しない。

封筒の表に記載すること：①宛先「横浜市PTA連絡協議会 事務局」、②差出人「区名・学校名」
③「広報紙コンクール応募作品」（朱書）

5. 募集期限
平成27年4月17日（金）まで
6. 選考並びに表彰
 - ・ 選考委員会（市P連役員・常置委員、市教委指導主事、神奈川新聞社）で、日本PTA主催全国コンクールの基準等に基づいて総合的に審査し選考する。選考数の目安は
横浜市PTA連絡協議会
会長賞：小学校6、中学校4、高等学校1、特別支援学校1
奨励賞：小学校6、中学校4、高等学校1、特別支援学校1
広報委員長賞：若干
神奈川新聞社賞：1
 - ・ 入賞団体は横浜市PTA連絡協議会総会で表彰し、作品を会場に展示する。
 - ・ 発表は横浜市PTA連絡協議会HPで行う。入賞団体には個別に連絡する。
7. 全国コンクールへの参加
上記6のうち、小学校部門、中学校部門の市P連会長賞作品を、横浜市PTA連絡協議会選考作品として日本PTA主催の全国コンクールに出品する。

<参考> 日本PTA 全国小・中学校PTA広報紙コンクール

- 賞：文部科学大臣賞、日本PTA会長賞 ほか
- 審査の観点
〔内容審査〕
 1. PTA活動の実態を掲載しているか
 2. 会員が関心をもって読む内容か
 3. 会員の生の声が反映されているか
 4. 積極的な企画性、アイデアがみられるか
 5. 社会教育の一環として地域との連帯感があるか
 6. 記事を生かす写真の利用がされているか
 7. 発行回数は適当か〔印刷内容〕
 1. 読みやすさ、見やすさ（編集、レイアウト）
 2. 印刷技術の良否（文字・写真）
 3. 全体の仕上がり
- 「優秀広報紙集」：コンクール終了後発行。入賞紙や制作のヒントなどを掲載。（購入可）

年 月 日

平成 26 年度 横浜市 P T A 広報紙コンクール応募票

学校名	区	横浜市立	学校
PTA の正式名称	(例 : PTA、父母と先生の会、等)		
所在地	〒		
広報紙の名称			
年間発行回数	回	1 回の発行部数	部
その他			
① 一番の特色			
② 読者の反応			
③ その他			

◎記入の上、応募作品と同封して平成 27 年 4 月 17 日 (金) までに、
市 P 連事務局に市メールにてご送付下さい。